

A セメスター 全学体験ゼミナール「じっくり学ぶ数学 II」
レポート問題 (その5)

問 1. 2 次式以下の (実数係数の) 多項式全体の集合を,

$$V_2 = \{f(x) = a_0 + a_1x + a_2x^2 \mid a_0, a_1, a_2 \in \mathbb{R}\}$$

と表わす. このとき, 以下の問に答えよ.

- (1) $\{1 + 2x + x^2, 1 + x + 2x^2, 2 + x + 3x^2\}$ を基底 $\{1, x, x^2\}$ を用いて表わせ. すなわち,

$$\begin{pmatrix} 1 + 2x + x^2 & 1 + x + 2x^2 & 2 + x + 3x^2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & x & x^2 \end{pmatrix} P$$

となる 3 行 3 列の行列 P を求めよ.

- (2) $\det P$ を計算することで, $\{1 + 2x + x^2, 1 + x + 2x^2, 2 + x + 3x^2\}$ も V_2 の基底となることを示せ.

- (3) $\{1 - 2x + x^2, 2 + x - 3x^2, 1 - 3x + 2x^2\}$ を基底 $\{1, x, x^2\}$ を用いて表わせ. すなわち,

$$\begin{pmatrix} 1 - 2x + x^2 & 2 + x - 3x^2 & 1 - 3x + 2x^2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & x & x^2 \end{pmatrix} Q$$

となる 3 行 3 列の行列 Q を求めよ.

- (4) $\det Q$ を計算することで, $\{1 - 2x + x^2, 2 + x - 3x^2, 1 - 3x + 2x^2\}$ は V_2 の基底とはならないことを示せ.

問 2.

$$V = \left\{ f(x) = \frac{a_0 + a_1x + a_2x^2}{(x-1)^2(x-2)} \mid a_0, a_1, a_2 \in \mathbb{R} \right\}$$

とする. すなわち, V は分母が,

$$q(x) = (x-1)^2(x-2)$$

という決まった多項式であり, 分子が二次式

$$p(x) = a_0 + a_1x + a_2x^2$$

であるような有理関数 $f(x) = \frac{p(x)}{q(x)}$ 全体の集合である. いま,

$$\mathbf{e}_0 = \frac{1}{(x-1)^2(x-2)}, \mathbf{e}_1 = \frac{x}{(x-1)^2(x-2)}, \mathbf{e}_2 = \frac{x^2}{(x-1)^2(x-2)} \in V$$

とすると, $\{\mathbf{e}_0, \mathbf{e}_1, \mathbf{e}_2\}$ は線型空間 V の基底となる. このとき, 以下の問に答えよ.

(1) V の元 $f_0, f_1, f_2 \in V$ を,

$$f_0 = \frac{1}{(x-1)^2}, f_1 = \frac{1}{x-1}, f_2 = \frac{1}{x-2} \in V$$

と定める. このとき, f_0, f_1, f_2 を基底 $\{e_0, e_1, e_2\}$ を用いて表わせ. すなわち,

$$\begin{pmatrix} f_0 & f_1 & f_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} e_0 & e_1 & e_2 \end{pmatrix} P$$

となる 3 行 3 列の行列 P を求めよ.

(2) $\det P$ を計算することで, $\{f_0, f_1, f_2\}$ も V の基底となることを示せ.

(3) e_0, e_1, e_2 というそれぞれの有理関数に対して, 部分分数展開を求めることにより, e_0, e_1, e_2 を基底 $\{f_0, f_1, f_2\}$ を用いて表わせ. すなわち,

$$\begin{pmatrix} e_0 & e_1 & e_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} f_0 & f_1 & f_2 \end{pmatrix} Q$$

となる 3 行 3 列の行列 Q を求めよ.

(4) (1), (2) で求めた行列 P, Q に対して, それらの積 PQ を計算して,

$$PQ = I$$

となることを確かめよ.